

当日は、210名を超える方々にご来場頂きました。子育て世代の女性が一番多く、平日にもかかわらず、お仕事を休んでのご参加や、男性・ご夫婦でのご来場、東京や大阪など遠方からの方も多数いらっしゃいました。

第1部では、いのちの授業『誕生学(R)』を伝える活動をしている、バースコーディネーターの大葉ナナコさんより【父も母も、子どもにいのちの話を】と題し、日本における「性」を取り巻く現状や、家庭で話す際のコツや、実際の言葉掛けなどを、時間を超える熱意とともに伝授していただきました。



大葉ナナコさん

第2部では、カナダ在住の元看護師で、日本でもご著書が邦訳され多くの方のバイブルともなっている、メグ・ヒックリングさんより【明るくユーモアに満ちて正しく伝える「性の健康」とは？】【子どもの発達段階に応じた性についての伝え方は？】というやや欲張った内容(リクエストに応じていただきました!)で、ご講演頂きました。通訳の青木さんを介してのお話でしたが、笑いが湧き上がるなど、明るく、柔らかなメグさんの姿勢そのものに、聞き入る様子が受け取れました。



メグ・ヒックリングさんと通訳の青木さん

続く第3部では、春日助産院院長である、大牟田智子さんをコーディネーターに【繋がっている！パートナーシップ～気持ちの良いお産～楽しい育児】と題したトークセッションを行いました。残念ながら、押していた時間と託児時間のリミットの関係で、20分間のショートバージョンになってしまいましたが、ズバリと本質を突く内容となり、参加者の方からも、「来年も続きを！」というリクエストが多く寄せられました。



トークセッションの様子

いのちを語る、わたしたち自身がいのちの力をあらためて知りたい、感じたい。本質的、根源的なことだからこそ、自分たちの言葉で伝えたい。今現在や未来の子育てに、より勇気と元気が湧くお話を。そして、子どもに関わる人たちが、癒される場となってほしい。そんな想いを込めて、準備を重ね、当日を迎えました。

予想以上のたくさんのお客様とのご縁を頂くことができ、しあわせを味わう一日となりました。慣れない運営に、行き届かない点多々あったのですが、皆さまのご協力を頂き、スムーズな進行ができたことも、心から感謝しております。

今回、ご参加頂いた方々、応援して下さった方々、ご縁を頂いたことをとても嬉しく感じています。ありがとうございました。深謝。

【寄せられた感想より】

〈メグ・ヒックリングさんへ〉

- ・ とても楽しいお話を折り混ぜていただいて、自分も我が子に対してメグさんのような姿勢ではなしをすればいいんだと思いました。お手本のようなお話ありがとうございました。
- ・ デモンストレーションが実際に見る事が出来てよかった。子宮は赤ちゃんを抱きしめている、本当にその通りだと思います。娘にはいつでも抱きしめてあげたいと思います。
- ・ 子どもの性への興味を尊重し、メグさんのおおやかな気持ちで対応していきたい。
- ・ より具体的に性の話を子どもに向けて話す大切さが分かりました。大人が正直になることって大切だと感じました。

- ・ とても感動しました。(出産のしくみで子宮の収縮のことが Hug だということ)。子どもに性の話をするのはタイミングを見計らうのが難しいと思いがちだったけど、子ども自身を守る為に大切なことだと考えました。

〈大葉ナナコさんへ〉

- ・ 今日ここでナナコさんに会わなければ、私自身が性についてネガティブなイメージを持ち続けていたと思います。ナナコさんのお話の後にメグさんのお話を聞いたことで、より、子ども達が性の話をオープンに聞いてくれるんだということに気づけました。

- ・ とてもエネルギーあふれる講演でした。子供の未来を守るにはどうしたらいいか、方向性が見えたと思います。伝えることが大切ですね。行動を早速したいと思います。

- ・ ポジティブオーラの中で熱い気持ちが伝わってきました。私は家庭で性教育を受けたくなかった。でも、子どもには愛を持ってスキンシップをとりながら、教えて伝えていけたらと思った。

- ・ どうも恥ずかしくて逃げてしまいたい性の話をロマンティックにお話できるって素敵だなと感じました。自分自身も親から聞いていないし、聞けなかった性の話をわが子にはきちんと自分でも伝えていけたらと思います。

〈大牟田智子さんへ〉

- ・ 実際に産科の現場でなにがあり、何があるのか、小学4年～中学2年にしっかり伝えていく運動を是非していただきたいと思います。

- ・ このような企画に初めて参加しました。自分自身夫婦関係で「性」って何?って気分になっていました。私も、多少なりとも悩んだ「性」と「生」子どもにはしっかり自分のできるなりに伝えたい。

- ・ 「命を見つめることは死を考える」というのがとても印象的でした。今の現場・現状を聞けるので本当に良かったです。〈その他〉

- ・ あらためて出産が大切なこと、世の中の始まりだと思いました。もっと世の中の人が出産のことについて知識を小さなきから必要だと思いました。

- ・ 生きる=命の大切さが分かる 生き方が変わる気がします。あまりにも世の中から命の誕生の話題がないために私達は命を大切にしていない。

メディア掲載

- ・ 読売新聞：2010年10月13日
- ・ 西日本新聞：2010年10月16日
- ・ 朝日新聞：2010年10月18日



朝日新聞 2010年10月20日(水)